

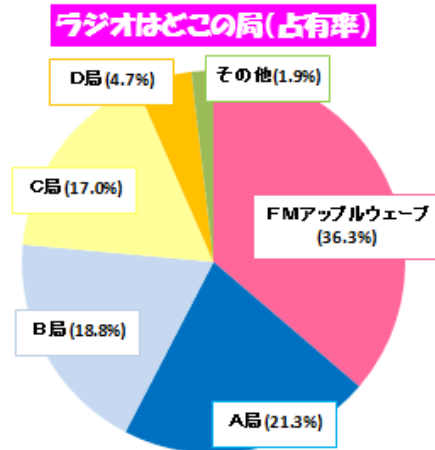
## FMアップルウェーブのラジオ占有率は、約36%でトップを堅持

2011.9/25

2011年9月25日（日）、カルチャロードにおけるアンケート調査で、FMアップルウェーブはラジオ占有率1位を堅持しました。

以下、今回の調査結果の主な特徴を列挙します。

\*SKK総合研究所が実施した「ラジオに関するアンケート調査」（2011年）より

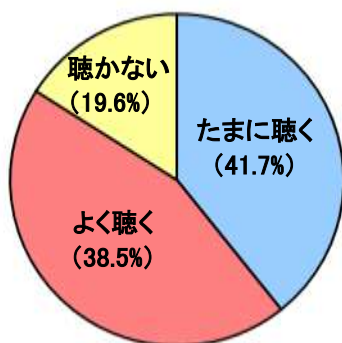


時間帯による占有率	夕方が最も高く45%、ついで朝が40%となっていた
年代別の占有率	10歳代 55%、40歳代 53%、30歳代 45%、50歳代 34%、20歳代 31%、 *60歳代以上では、AM・NHKラジオに対する占有率が高くなっていた
男女別の占有率	男性 39%、女性 35%であった
職業別の占有率	小・中学生 92%、団体職員 64%、公務員 54%、高校生 45%
場所による占有率	車の中で47%、家で44%、職場で5% *通勤途中に聴くが多く、家事をしながらやつろぎながらも多かった
好きな番組ジャンル	地域の話 22%、音楽番組 16%、お天気・交通・空席情報 13% 緊急情報 12%、観光・祭り(イベント)情報 11%

## ラジオを聴く人は、意外に多い

よく聴く・たまに聴くを併せると実に80%

ラジオを聴いている人は…



日本新聞協会（2009年 全国メディア接触・評価調査）による各メディアの接触率は、テレビ視聴率が最も高く99%、ついで新聞読取率が91%であったが、ラジオ聴取率は57%とメディア接触率が最低であった。

FMアップルウェーブ可聴エリアにおいてはラジオへの接触率は、87%と全国平均の1.4倍となっており、宣伝媒体としてのラジオは、極めて有効な手段の一つであるといえます。